



2015年3月期 中間報告書

2014年4月1日から2014年9月30日まで

経営統合について

イヌイ倉庫株式会社と乾汽船株式会社は、
2014年10月1日に統合し、新たな乾汽船株式会社となりました。

倉庫、海運という専門に捉われず、顧客物流の全体最適化を志向することで
事業の領域を広げてまいります。



KEN EI



神戸みなと倉庫



月島荘

株主の皆様へ

ごあいさつ

イヌイ倉庫と乾汽船は 2014年10月1日に統合し、
新たな乾汽船となりました。

両社はそれぞれ、90年と110年、倉庫と海運と
いう領域で事業活動してきました。

今後は、これまで培ってきた機能を相互に活用し、
「事業の伸長」、「経営基盤の強化」、「運営の効率化」
という3つの視点に基づき、統合効果を早期に実現
することを志向してまいります。

引き続き、社員一同、地道に本業の足元を固め
ますとともに、これからの事業を取り巻く環境の変化
に負けぬ着実な歩みを進めてまいります。

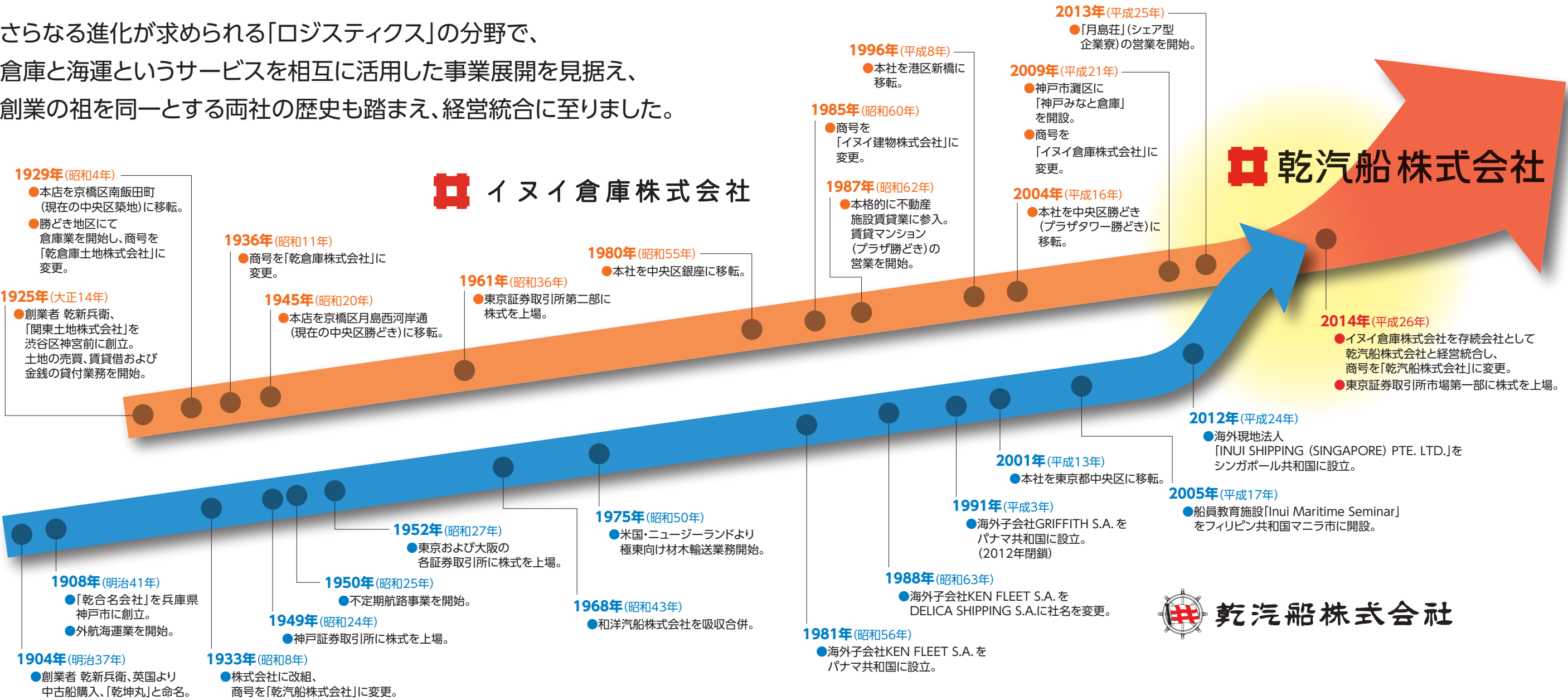
株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬ
ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2014年12月

代表取締役社長 乾 康之

イヌイ倉庫、乾汽船両社の歩み

さらなる進化が求められる「ロジスティクス」の分野で、
倉庫と海運というサービスを相互に活用した事業展開を見据え、
創業の祖を同一とする両社の歴史も踏まえ、経営統合に至りました。



事業の概況(連結)

旧イヌイ倉庫株式会社

当中間期の概況

当中間期における当社グループを取り巻く事業環境は、物流業界において、貨物保管残高は前年同期を上回る水準となり、貨物取扱量も堅調に推移いたしました。また、賃貸物流施設の稼働率は引き続き高い水準にて推移いたしております。

不動産業界においては、都心部の賃貸オフィスビル市況は空室率の低下が続きましたが、東京23区の賃貸マンション市況は前年同期を若干下回る水準で推移いたしました。

このような状況下、当中間期における当社グループの業績は、営業収益につきましては、前年同期比49百万円増収(+1.3%)の3,746百万円となりました。また、営業利益は前年同期比154百万円増益(+47.4%)の478百万円、経常利益は前年同期比169百万円増益(+58.5%)の458百万円、中間純利益は前年同期比144百万円増益(+75.7%)の334百万円となりました。

■物流事業

物流事業におきましては、トランクルーム事業の収益寄与が

あったものの、倉庫事業において取引高の減少により営業収益は前年同期比57百万円減収(△3.6%)の1,561百万円となりました。セグメント利益は前年同期に計上した持分法適用関連会社の損失が減少したこと等により、前年同期比81百万円増益(+243.2%)の115百万円となりました。

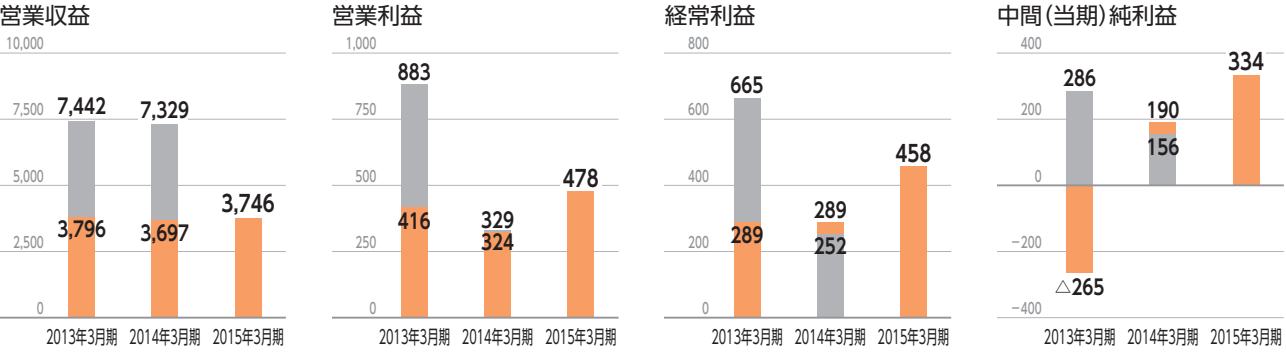
■不動産事業

不動産事業におきましては、既存賃貸物件の稼働率上昇や本年1月に稼働を開始したシェア型企業寮「月島荘」の収益寄与に伴い、営業収益は前年同期比179百万円増収(+8.9%)の2,185百万円、セグメント利益は前年同期比37百万円増益(+5.5%)の706百万円となりました。

配当金について

2014年9月30日の最終の旧イヌイ倉庫株式会社の株主名簿に記載または記録された株主もしくは登録株式質権者の方へ、1株につき9円の中間配当を行いました。

業績等の推移(連結) ■ 中間期 ■ 通期 単位：百万円 (記載金額は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。)



旧乾汽船株式会社

当中間期の概況

当中間期の世界経済は、米国では株価の高値更新に象徴されるように景況感及び企業業績期待が復調しています。日本では、株式市場は堅調に推移したものの、消費増税後の消費停滞、円安に伴う原材料やエネルギー価格の高騰の懸念もあり、政府の成長戦略への期待が盛り上がり、欧州でも景気の停滞を背景にデフレ懸念が強まりました。加えてウクライナや中東、香港情勢等が地政学リスクとして意識され、全体としては不安定な状況が続きました。

不定期船外航海運業を取り巻く環境としましては、世界的な船腹過剰の影響を受け低調な市況が続きました。当社が主力とするハンディサイズばら積み船の運賃・用船市況につきましては、昨年後半にいったん回復基調となっていました。2月頃より下落に転じ、現在に至るまで下落が続いております。

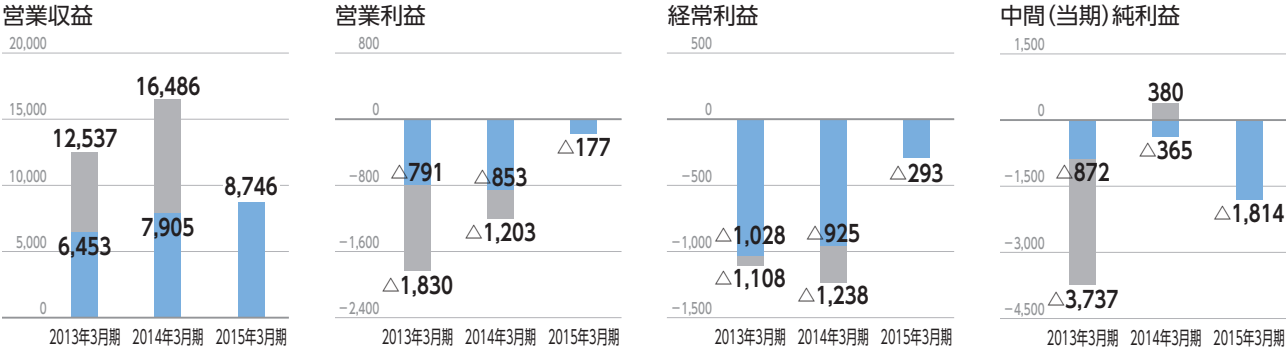
その中であって当社は、自主運航による効率的な配船を追求すると共に、減速航海の深度化による更なる燃料費削減などを実施し収益改善に努めてまいりましたが、市況の低迷

による採算の悪化をカバーするには至らず、当中間期の営業損益及び経常損益は赤字となりました。

特別損益に関しましては、合併関連費用を計上していること、ならびに現在の用船市況に比べ高い借船契約をしている船舶の一部について早期解約を実施したことによる用船契約解約金を計上しております。このため中間純利益では大幅な赤字となりました。

具体的な数字といたしましては、当中間期の営業収益は8,746百万円(前年同期比841百万円の増加)、営業損失は177百万円(前年同期比676百万円の縮小)、経常損失は293百万円(前年同期比632百万円の縮小)、中間純損失は1,814百万円(前年同期比1,449百万円の拡大)となりました。

業績等の推移(連結) ■ 中間期 ■ 通期 単位：百万円 (記載金額は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。)



財務諸表(連結)

旧イヌイ倉庫株式会社

単位：百万円（記載金額は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。）

中間期連結貸借対照表(要旨)

科 目	当中間 連結会計期間 2014年9月30日現在	前連結会計年度 2014年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	2,205	2,369
固定資産	37,891	37,780
有形固定資産	26,115	26,589
無形固定資産	93	110
投資その他の資産	11,682	11,080
資産合計	40,097	40,149
(負債の部)		
流動負債	6,134	6,229
固定負債	16,743	17,267
負債合計	22,878	23,497
(純資産の部)		
株主資本	15,599	15,350
資本金	2,767	2,767
資本剰余金	2,699	2,699
利益剰余金	11,351	11,102
自己株式	△1,218	△1,218
その他の包括利益累計額	1,619	1,300
その他有価証券評価差額金	1,635	1,316
繰延ヘッジ損益	△15	△15
純資産合計	17,219	16,651
負債純資産合計	40,097	40,149

中間期連結損益計算書(要旨)

科 目	当中間 連結会計期間 2014年4月 1 日から 2014年9月30日まで	前中間 連結会計期間 2013年4月 1 日から 2013年9月30日まで
営業収益	3,746	3,697
営業原価	2,923	3,003
営業総利益	823	693
販売費及び一般管理費	344	369
営業利益	478	324
営業外収益	94	85
営業外費用	115	121
経常利益	458	289
特別利益	0	107
特別損失	2	2
税金等調整前中間純利益	455	393
法人税、住民税及び事業税	33	45
法人税等調整額	88	157
中間純利益	334	190

中間期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

科 目	当中間 連結会計期間 2014年4月 1 日から 2014年9月30日まで	前中間 連結会計期間 2013年4月 1 日から 2013年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,128	1,037
投資活動によるキャッシュ・フロー	△139	152
財務活動によるキャッシュ・フロー	△941	△1,657
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	46	△467
現金及び現金同等物の期首残高	1,435	2,339
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△47	－
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,434	1,872

旧乾汽船株式会社

単位：百万円（記載金額は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。）

中間期連結貸借対照表(要旨)

科 目	当中間 連結会計期間 2014年9月30日現在	前連結会計年度 2014年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	7,651	9,689
固定資産	24,304	23,625
有形固定資産	19,017	18,156
無形固定資産	65	76
投資その他の資産	5,221	5,391
資産合計	31,956	33,314
(負債の部)		
流動負債	3,487	3,284
固定負債	10,462	10,371
負債合計	13,949	13,655
(純資産の部)		
株主資本	16,051	17,958
資本金	3,351	3,351
資本剰余金	2,098	2,098
利益剰余金	10,607	12,514
自己株式	△6	△6
その他の包括利益累計額	1,955	1,592
その他有価証券評価差額金	563	309
繰延ヘッジ損益	△25	△19
為替換算調整勘定	1,417	1,302
新株予約権	－	107
純資産合計	18,007	19,658
負債純資産合計	31,956	33,314

中間期連結損益計算書(要旨)

科 目	当中間 連結会計期間 2014年4月 1 日から 2014年9月30日まで	前中間 連結会計期間 2013年4月 1 日から 2013年9月30日まで
売上高	8,746	7,905
売上原価	8,470	8,286
売上総利益又は売上総損失(△)	276	△381
一般管理費	453	472
営業損失(△)	△177	△853
営業外収益	170	160
営業外費用	285	231
経常損失(△)	△293	△925
特別利益	107	518
特別損失	1,665	2
税金等調整前中間純損失(△)	△1,850	△409
法人税、住民税及び事業税	1	1
法人税等調整額	△38	△46
中間純損失(△)	△1,814	△365

中間期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

科 目	当中間 連結会計期間 2014年4月 1 日から 2014年9月30日まで	前中間 連結会計期間 2013年4月 1 日から 2013年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△929	△219
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,054	△3,080
財務活動によるキャッシュ・フロー	△418	1,043
現金及び現金同等物に係る換算差額	218	169
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,184	△2,087
現金及び現金同等物の期首残高	6,494	5,370
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,309	3,283

船隊整備

当社では、ハンディ型ばら積船を中心とした競争力ある船隊整備に取り組んでおります。その一環といたしまして本年10月に、23,000重量トンクラスの当社海外子会社保有船1隻を売却いたしました。

一方、本年11月に、当社海外子会社を通して37,000重量トンクラスの新造船1隻を船隊に投入いたしました。この結果、本年11月末時点における新造船の発注残数は、2隻となりました。これら船隊の整備は、中期的な船隊整備計画に則ったものであり、新造船および中古船の市場価格を見極めながら着実な競争力の強化を進めてまいります。



命名・引渡式を終え出航する新造船「KEN SHIN」

ロジポートアイランドシティ博多

当社と世界有数の不動産投資会社の日本法人、ラサール不動産投資顧問株式会社が、共同で開発を進めていたマルチテナント型物流施設「ロジポートアイランドシティ博多」が、2014年4月25日に竣工いたしました。

「ロジポートアイランドシティ博多」は、延床面積約48,900 ㎡で、博多地区最大級、最新鋭のマルチテナント型物流施設です。既に2014年1月30日に100%の入居率を達成しております。



外観



内観

会社の概況 (2014年10月1日現在)

資 本 金	27億6,750万3,820円 (東京証券取引所市場第一部上場)
本 社	東京都中央区勝どき一丁目13番6号
従 業 員 数	連結154名、単体92名
主要な事業内容	●海運事業 不定期航路事業と船舶貸渡業 ●倉庫事業 貨物の保管、荷役、運送並びに倉庫建物の 賃貸等を行う事業 ●不動産事業 ビル、マンション、駐車場等の賃貸、管理等 を行う事業

役 員 (2014年10月1日現在)

取締役・監査役	
代表取締役社長	乾 康 之
取 締 役	乾 隆 志
取 締 役	湯 浅 和 夫 ※
取 締 役	苦 瀬 博 仁 ※
取 締 役	川 崎 清 隆 ※
常 勤 監 査 役	控 井 達 夫
常 勤 監 査 役	高 橋 幸 一 郎 ※
監 査 役	田 中 正 人 ※
※印は社外取締役および社外監査役であります。	

執行役員	
社 長	乾 康 之 倉庫事業部門担当兼物流研究室長
専 務 執 行 役 員	乾 隆 志 海運事業部門担当
常 務 執 行 役 員	阿 部 健 二 コーポレートスタッフ部門担当
常 務 執 行 役 員	朝 原 登 海運事業部門担当
執 行 役 員	加 島 昭 久 総務部担当兼総務部長

グループ構成

- 乾汽船株式会社
〒104-0054 東京都中央区勝どき一丁目13番6号
☎03(5548)8211
海運事業、倉庫事業および不動産事業を行っております。

- 連結子会社
国内
 - イヌイ倉庫オペレーションズ株式会社
〒104-0054 東京都中央区勝どき一丁目13番6号
☎03(5548)6110
倉庫内作業(入出庫作業・在庫管理業務等)および配送業務を行っております。

- イヌイ倉庫開発合同会社
〒104-0054 東京都中央区勝どき一丁目13番6号
☎03(5548)2060

- 海外
 - DELICA SHIPPING S.A.
Banco Aliado Tower,Ricardo Arias Street, Suite 12-B,
Panama City, Republic of Panama
船舶の所有および貸渡業を行っております。
 - INUI SHIPPING (SINGAPORE) PTE. LTD.
72 Anson Road #11-01 Anson House
Singapore 079911
☎+65-(6438)0545
搬積船の保有、貸渡および運航事業を行っております。

- 持分法適用関連会社
 - イヌイ運送株式会社
〒135-0062 東京都江東区東雲二丁目1番10号
☎03(3528)1254
主に法人向けの引越業(転勤引越、事務所移転)を行っております。

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領 株主確定日	3月31日
中間配当金受領 株主確定日	9月30日
定時株主総会	6月
基準日	3月31日 その他必要ある場合は、あらかじめ公告した日
公告方法	当社のホームページに掲載いたします。 (http://www.inui.co.jp/) ただし、事故その他やむを得ない事由により、当社のホームページに掲載することができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

単元未満株式買取・買増請求制度のご案内

当社は、単元株制度を採用しており、1単元は100株です。
単元未満株式(1～99株)は議決権がなく、また証券市場にて売買することができません。

単元未満株式につきましては、法律および当社定款・株式取扱規則の規定に基づき単元未満株式の買取・買増請求制度をご利用いただけます。

株式に関する各種手続き、問い合わせ先

1.証券口座に株式をご所有の株主様

お取引証券会社にお問い合わせください。

2.特別口座に株式をご所有の株主様

下記の、特別口座管理機関にお問い合わせください。

・旧イヌイ倉庫の株主様

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話0120-288-324(フリーダイヤル)
(土・日・祝日を除く9:00～17:00)

・旧乾汽船の株主様

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話0120-782-031(フリーダイヤル)
(土・日・祝日を除く9:00～17:00)



〒104-0054 東京都中央区勝どき一丁目13番6号 プラザタワー勝どき
TEL: 03(5548)8211(代) <http://www.inui.co.jp>

